

「ケア24 & 相談支援部会の交流会」のまとめ

平成23年2月4日
相談支援部会Cグループ

1. ケア24と相談支援事業所との「交流会」まとめ

今回で2回目となる交流会は、事前に6回（事前打ち合わせを含めれば7回）の準備会を持ち、ケア24幹事の方と、共に高齢障害者のための支援や連携を深めるためにどのような交流会の形式がよいか、意見を吸い上げ、盛り込む形で、開催した。

具体的には、昨年の反省も踏まえ、「分かりやすい事例、ケア24・相談支援部会が共に学べる制度・サービスの説明も加え、顔の見える連携のためのグループ討議」という内容とした。

アンケート結果からは、今年度の交流会について「事例・グループ討議とも参考になった。」「次回も継続してほしい」との意見をいただいている。ただ、ケア24から「準備会が少し負担だった」との意見もあり、「まとめの会」で、次年度の具体的な意見もでたため、末尾にそれをまとめ、次年度の交流会《案》として提案したい。

【委員の感想】

- ・事例はわかりやすかった。
- ・各事業所の紹介はオーバーしたが、各特色がわかり、顔が見えて、その後のグループ討議にスムーズにつながった。グループ討議は、活発な意見が出た。
- ・自己紹介が長く、グループ討議が短かった。制度に関心があり、視覚障害者について話し合いを深めてよい。充実していた。回を重ねていけるといい。
- ・事例を2つにしぼりわかりやすかった。グループ討議の時、事例について話してもらおうとしても、一言ずついただいて事例に戻れなくなってしまった。事例から離れてしまったが、活発な意見がでて、顔合せができたことが収穫で、良かった。
- ・全体として2時間30分は長い。ケア24の「うちの地域は・・・」という紹介は地域性がわかって良かった。こちら側（相談部会）の分かりにくさはある。適切な所につなぐという話はするが、苦しい。
- ・狙いを絞れた。互いに負担なく交流を続けていくことを考えてもいいのでは（ないか）。去年は探りながら準備会が学びの場であったが、毎回このような準備会をもつのは大変。来年度どうするか方針を決めてしまったら（いいのではないか）。求めるものが決まったら、ルーチンでやってもいいのではないか。

【ケア24から】

- ・いい流れだった。盛沢山。両方の事例、各事業所の紹介、交流、あれくらいオーバーしても、それくらい充実して意見交換できて満足度が高い。グループ討議は、去年と比べて主旨が分かり、意見が平行線ではなく、どうなっていくのが踏まえながら討議できた（高齢支援課）。
- ・後の交流が身になったので、その時間を長くしたい。
- ・自己紹介が長く必要ないのでは、あるいは他の方法があるのでは。事例発表するのであれば、事例を生かしたグループ討議がしたかった。現場サイドの参加が多いが、行政の参加をお願いしたい。来年度、連携した成功事例を取り上げてほしい。

【アンケート結果】

- ・事例について 参考になった。特に「制度の情報」が参考になった。
 - ・グループ討議について 参考になった。特に「制度の違いについて」次いで「顔の見える関係づくり」「連携のとり方」が続く。
 - ・次年度の開催について 「継続して開催してほしい」
- 開催時期は無回答が多いが、次いで「1月」が続く。開催形式は、「交流会形式」が多い。

ケア24 & 相談支援部会の交流会について

次年度

平成23年2月4日
相談支援部会Cグループ

1. 目的

『地域のネットワーク構築のための交流会』とする。
(ネーミングは、ケア24が正規業務として参加しやすいものとする。)

2. 開催時期

平成24年1月中旬 13:30～

3. 開催場所

杉並保健所 地下講堂

4. 開催形式

(1) 第1部

事例紹介

- ・視覚障害者の「障害者自立支援サービスから介護保険移行のための支援」
- ・障害サービス、制度の説明も加える。

(2) 第2部

交流会形式

- ・テーマ:「障害者自立支援サービスから介護保険移行のための支援」
- ・グループに別れて、討議。

5. 準備会の持ち方

- ・回数を絞る
ex) 交流会事前に1回～2回、事後に1回程度。

6. その他

- ・交流会は、参加しやすい位置付けにする。
ex) 障害者担当課長から、高齢者担当課長に話をつないでおく。
交流会の案内等は、担当所管課から連絡する。
- ・開催時期が決まれば、早急にケア24に連絡する。
- ・制度の説明等は、交流会以外の方法を考える。
ex) 区の研修で対応する。